

平成28年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	物理刺激で制御される膜蛋白質の分子機構の解明
研究代表者	濡木 理
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、膜タンパク質の中でも特に物理刺激で開閉が制御されるイオン輸送体の動的な構造変化と作動機構を、原子分解能で解明することを目標としている。</p> <p>応募者らは既に、X線結晶解析に基づいた膜タンパク質の構造解析については、有数の実績を上げてきた。本研究では、その研究基盤の上に、X線自由電子レーザー（XFEL）を用いた時間分解能を持った解析や、クライオ電子顕微鏡を用いた解析などの多様な研究方法を組み合わせ、研究目標を達成する計画である。本研究の独創性、重要性、挑戦性に加えて、応募者らの国際的業績から見て、世界を先導する優れた研究成果が生み出されることが期待され、このことから、特別推進研究として推進すべきであると判断した。</p>